

平成二十一年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

## 共通選抜 全日制の課程

二  
國  
語

注意事項

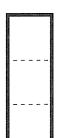
- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。

2 問題は **問五** まであり、1ページから14ページに印刷されています。

3 答えは、解答用紙の決められた欄に、記入またはマークしなさい。

4 数字や文字などを記述して解答する場合は、解答欄からはみ出さないように、はつきり書き入れなさい。

5 マークシート方式により解答する場合は、その番号の○の中を塗りつぶしなさい。

6 解答用紙にマス目（例..）がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。

7 終了の合図があつたら、すぐに解答をやめなさい。

受  
検  
番  
号

---

---

---

---

番

問一 次の問いに答えなさい。

(ア) 次の1～4の各文中の――線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代かなづかいで書きなさい。

1 人生の岐路に立つ。

3 銀行から融資を受ける。

2 彼の苦衷を察する。

4 焦燥に駆られる。

(イ) 次のa～dの各文中の――線をつけたカタカナと同じ漢字を含むものを、あとの1～4の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

a 服を作るためにヨウサイを習う。

1 弟子の非凡なサイカクを見抜く。

2 もめごとのチュウサイに入る。

3 庭のサイエンの手入れをする。

4 提出した企画がサイヨウされる。

b 姿勢を良くするためにハイキンを鍛える。

1 校舎はテツキンの三階建てである。

2 百貨店にキンムする。

c 今日の気温が例年のハイキンを上回る。

2 寝不足はキンモツである。

d 友人とシヨウライの夢について語り合う。

2 出場選手のシヨウシユウを行う。

1 雨で行事の進行にシシヨウを来す。

4 ろうそくのネンシヨウを観察する。

e 野球部のシュシヨウを任される。

例文 待ち時間が長く感じられる。

1 空梅雨で水不足が案じられる。

2 観光客から道を尋ねられる。

3 好き嫌いなく食べられる。

4 社長が出張先から戻って来られる。

(ウ) 次の例文中の――線をつけた「られる」と同じ意味で用いられている「られる」を含む文を、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

著作権上の理由により省略

栗木 くりき 京子 きょうこ

- 1 夏が終わりゆくときの何かをやり残した感覚、夕日が沈んだ後の言葉にできない不安、急に訪れる悲しみを救つてくれるのは「天使」だけだという確信を、「きっと」を用いて表現している。
- 2 夏の後には秋が、夕日が沈んだ後には夜が来て、悲しみの後には喜びがやつてくるというごく自然な日常のありさまを、「夕日」「うしろ」「ゐる」のようにイとウの音を多用して軽快に表現している。
- 3 夏の終わりの寂しさ、夕日の切なさ、何か悲しみを感じたときに、自分には見えなくとも見守り支えてくれるものが存在するという思いを、同じ語の繰り返しと読点を効果的に用いて表現している。
- 4 夏の終わりや夕日が沈むときに誰もが感じた悲しみは、「天使」がいるとしてもきっと消えはしないという過去にとらわれている思いを、下の句に歴史的かなづかいを用いて表現している。

問二 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

(注) 六波羅の太政入道、福原の京たてて、みなわたりぬて後、ことのほかにほどへて、「古京と新京といづれか勝れるといひさだめをせむ。」とて、古京に残り居たるさもある人ども、みな呼びくだしけるに、人みな入道の心をおそれて、思んばかりも言ひひらかざりけり。  
(議論をしよう)

(注) 長方卿ひとり少しも所をおかず、この京をそしりて、言葉も惜しまずさんざんに言ひけり。さて、もの京のよきやうを言ひて、つゐにその日のこと、かの人のさだめによりて、古京へ帰るべき儀になりにけり。

後にその座にありける上達部の、長方卿に会ひて、「さてもあさましかりしことかな。  
(あれほどのがれほとの非情な人)

が、いみじと思ひてたてたる京を、さほどにはいかに言はれしそ。言ひ趣けて帰京の儀あればこそあれ、  
(説得して)

いふかひなく腹立ちなば、いかがしたまはまし。」と言ひければ、「このこと、我が思ひには似ざる儀なり。  
(あれほどのがれほとの非情な人)

入道の心にかなはんとてこそさは言ひしか。その故は、広く漢家本朝を考ふるに、よからぬ新儀行ひたる  
(広く中国や日本の例を探つてみますと)

(相談することはありません)

者、はじめに思ひたつ折は、なかなか人に言ひあはすることなし。そのしわざ少し悔しむ心あるとき、人には間ふなり。これもかの京、ことのほかに居つきて後、両京のさだめを行ひしかば、はや、このこと悔しうなりにけり、といふことを知りにき。されば、なじかは言葉を惜しむべき。」とぞ言はれける。

まことに、後に人に超えられんとしけるときも、この入道よきやうに申して、「長方卿は、ことのほかにものおぼえたる人なり。たやすく人に超越せしむべからず。」とて、後までも方人(味方)をせられけるなり。

(「続古事談」から。)

(注) 六波羅の太政入道平清盛（一一一八～一一八二）。京都の六波羅に邸宅があつた。  
福原福原 現在の兵庫県神戸市の地名。一一八〇年、平清盛が一時都を移した。  
長方卿藤原長方（一一三九～一一九二）。

上達部貴族の中でも高い位の者。

(ア)

——線1 「思んばかりも言ひひらかざりけり。」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次のの中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 「新京」に移った人たちは、「入道」の高い地位におそれをなして、「新京」に対する自分の思いを正直に告白することができなかつたということ。

2 「新京」に移つた人たちは、「入道」の脅しの言葉をおそれて、以前のように「古京」と「新京」に戻つて生活をしたいという願いを口にしなかつたということ。

3 「古京」に残つていた人たちは、「入道」の怒りを買うのをおそれて、「古京」と「新京」に対する自分の考えをありのままに打ち明けなかつたということ。

4 「古京」に残つていた人たちは、「入道」の力強い雰囲気におそれをなして、都を移した後も「古京」に残つていた理由について弁解をしなかつたということ。

(イ) — 線2 「さてもあさましかりしことな。」とあるが、それは誰がどのように発言したことに対して「上達部」が言つたことか。最も適するものを次のの中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 「入道」が「新京」の不備を認めつつ、「古京」に残つた人々に早く移転するよう説いたこと。

2 「長方」が「新京」のよさを述べつつ、「古京」へのこだわりを捨てるべきだと訴えたこと。

3 「入道」が「新京」に移つた人々を賞賛するとともに、「古京」に残つた人々を責めたこと。

4 「長方」が「新京」について非難するとともに、「古京」のよいところを述べたこと。

(ウ) — 線3 「なじかは言葉を惜しむべき。」とあるが、「長方」がそのように言つた理由として最も適するものを次のの中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 「入道」が「新京」に都を移したことを少し悔やんではいると察し、はつきりと意見を述べることで「入道」の気持ちに応えようとしたから。

2 「入道」が「新京」に都を移したことについていくらか後悔していることに気付き、人前で指摘して「入道」に恥をかかせようとしたから。

3 自分が「入道」に進言しなかつたことで「古京」に戻るのが多少遅れて世の中を混乱させたと反省し、「入道」に謝罪しようと考えたから。

4 自分の進言が「入道」に受け入れられず一度は「古京」に帰されてしまつたが、それでも「入道」に自分の真意を伝えようと思つたから。

(エ) 本文の内容と一致するものを次のの中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 「入道」は、「新京」に都を移したことの是非について、議論の場を設けて人々に意見を求めたが、「長方」に遠慮して誰も意見を述べることができなかつた。

2 「入道」は、「古京」と「新京」に関する議論をした後、「長方」のことを気にかけ、他の者が「長方」の地位を簡単に追いつくのを許そうとはしなかつた。

3 「長方」は、他の者がうらやむほど知識が豊富であり、「入道」から的确な意見を期待され、都の移転後に「古京」と「新京」に対する見解を求められた。

4 「長方」は、「古京」と「新京」の優劣の議論をめぐり「入道」を怒らせたが、最後まで味方をしてくれる人のおかげで、もとの地位を維持することができた。

問三 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

著作権上の理由により省略

著作権上の理由により省略

著作権上の理由により省略

## 著作権上の理由により省略

(藤井 清美「明治ガールズ」から。一部表記を改めたところがある。)

(注) 松代＝長野県南部の地名。「英」の故郷。

皇太后＝天皇の母。

晶子＝「英」の友人。

髻＝髪を束ねて結つたもの。

釜＝糸をほぐすために繭を煮る釜。

新子＝「英」と同郷の少女。

揚返＝小さい枠に巻き取られた生糸を、大きい枠に巻き直す作業。

(ア) —線 1 「洋装よ。まるで似合つてない。」とあるが、そのときの「英」の気持ちを説明したものとして最も適するものを次のなかから一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 仕事に打ち込むことで「幸次郎」への恋心を忘れていたが、再会して思わず動搖し、強い言葉を投げかけて「幸次郎」への思いを再び断ち切ろうとしている。

- 2 自分の仕事は皇族が視察にくるほど先進的なものだが、田舎で父を手伝う「幸次郎」の仕事は何の進歩もないと思い、その地味な生き方を見下している。

- 3 髪を切らないままの洋装で現れた「幸次郎」の感覚を信じながら、自分まで仲間たちから笑われてしまつた屈辱に耐えられないでいる。

- 4 自分の好意を素直に表すわけにはいかず、「幸次郎」の洋装にかこつけて、自分が求めていた言葉が手紙になかつたことへの不満をぶつけようとしている。

(イ) —線 2 「何も変わつてない。……そうですね……そうでしょう。」とあるが、ここでの「幸次郎」

- の気持ちをふまえて、この部分を朗読するとき、どのように読むのがよいか。最も適するものを次のなかから一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「数馬」の勧めで洋服を着て、晴れがましく思つていたのに、「英」から内面が変わつていないと言わ�、この場から消えたいという思いをやつと吐き出すように、少しづつ声を弱めながら読む。

- 2 「英」にあてた短い手紙のなかに自分なりの精一杯の好意を込めたものの、「英」からはつきりと拒絶されてしまつたため、落ち込んだ気持ちを悟られないように、抑揚をおさえながら読む。

- 3 自分の変化したことばかり述べて「幸次郎」を否定する「英」の言葉を受け止め、たとえ変化はなくとも、自分なりに眞面目に生きてきたという思いを抑え込むように、間を置きながら読む。

- 4 自分の誇りを傷つけるだけでなく、松代の生活までも否定する「英」の発言に怒りを感じつつも、自分の置かれた立場をわきまえてその気持ちを必死にこらえるように、余韻を残しながら読む。

(ウ)

——線3 「勇の声は細いのに、言葉は途切れることなく繋がっていた。そして、いい糸のような、他人を寄せ付けない強さを持つていて。」とあるが、「勇」の言葉から読み取れるその人物像として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 大人びた雰囲気と子供のような明るさを備えており、一等工女に選ばれたことによつて周りの人たちに対する優越感を持つていてる人物。

- 2 自分の考え方をしつかりと述べる芯の強さがあり、仕事に謙虚に向き合つて工場が造られた背景や故郷の人々を思いやることができる人物。

- 3 第一号の工女として必然的に皆を先導する役割を果たしており、故郷や工場の人々からの評価を気にして周りの様子を観察している人物。

- 4 自分の考え方と違うことを言われると反論せずにいられない性格であり、仕事で卓越した技術を持つていることを誇りにしている人物。

(エ) ——線4 「英は、松代を発つて初めて泣いた。」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「勇」の言葉を聞いているうちに、自分がいろいろなことを知つたつもりで思い上がり、「幸次郎」の気持ちを考えずにひどい言葉をかけてしまったことに気付いたから。

- 2 本当に立派になるために何をしたらいいのかという答えの出ない問い合わせについてこれまで考えたことがなく、「勇」には何をしてもかなわないと思い、自尊心が傷つけられたから。

- 3 仕事を覚えて自分が違う人間になつた気がして誇らしかつたが、「勇」の言葉によつて仕事を進めらううえで知らない作業が多いことに気付き、自分の未熟さを反省したから。

- 4 「勇」の言葉によつて、両親や「幸次郎」など故郷で自分の帰りを待ちわびている人たちのことを思ひ浮かべ、可能であれば今すぐ帰りたいほど故郷が恋しくなつたから。

(オ) ～線a 「蟻が這つてきて、幸次郎の影の中に消える。」、～線b 「蟻が、幸次郎の影から抜け出して、更に先に進んでいく。」とあるが、それらの表現がもつ効果について説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「幸次郎」への失望にこだわり「英」が言葉を發せずにいる状況から、「英」の気持ちを察して「幸次郎」も言葉を失い、二人の心の隔たりが表面化していくまでの時間の経過を表している。

- 2 多くの経験を通じて変化を自覚した「英」と、松代で変化のない生活をしていたために「英」の気持ちについていけなくなつた「幸次郎」との間で分かれた人生の明暗を表している。

- 3 「英」が、何も変わらずにいる「幸次郎」との再会を通じて、「幸次郎」との間の埋められない心の距離を確認し、現状から抜け出して新しい世界へ進もうと決意する瞬間を表している。

- 4 「幸次郎」への失望を打ち消そうとする「英」の葛藤と、その「英」の気持ちを短いやりとりの中を感じ取つた「幸次郎」が、自分から身を引こうと思いつを固めるまでの過程を表している。

(カ) この文章について述べたものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 明治時代の先進的な製糸場である富岡を舞台にして、「英」や「幸次郎」をはじめ、当時の若者にも輝かしい青春があつたということを、複数の人物の証言を交えて重層的に表現している。

- 2 明治時代における製糸業が、「英」をはじめとする工女にとつて大変つらい仕事であつたということを、皇族の視察の逸話や「揚返」、「糸繰り」などの専門用語を用いて詳細に表現している。

- 3 松代を出発したばかりの頃は仕事のことなどまるで理解していなかつた「英」が、「幸次郎」や「勇」に支えられて一等工女に成長していく姿を、「幸次郎」の視点から感動的に表現している。

- 4 新しいことを学びながらも謙虚さを失つていた「英」が、「勇」との交流をきっかけに、「幸次郎」の手紙に詰まつた様々な想いに気付くまでの過程を、丁寧な描写により生き生きと表現している。

著作権上の理由により省略

著作権上の理由により省略

# 著作権上の理由により省略

(苦野 一徳「はじめての哲学的思考」から。一部表記を改めたところがある。)

(注) タレス＝紀元前六世紀頃の古代ギリシアの哲学者。

孔子＝儒教の開祖。

仏陀＝仏教の開祖。

DNA＝遺伝子の本体。

フェニルエチルアミンやドーパミン＝脳内で分泌される物質。

(ア) 本文中の □A・□B に入れる語の組み合わせとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 A あるいは B または 2 A しかし B もちろん

3 A また B たしかに 4 A むしろ B たとえば

(イ) — 線1 「自然哲学は自然科学へと『進化』したのだというべきだらう。」とあるが、そのように言える理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 自然哲学から派生した自然科学が共通の尺度を作つたことにより、人々の思考が整理されたから。

2 考えることに頼つていた自然哲学の思考や方法の進展により、近代の科学が生み出されたから。

3 自然哲学の進展により、宗教で扱われていた世界の謎が自然科学の領域として整理されたから。

4 思考の進展により、異なる領域を扱う自然哲学と近代の科学が新たな学問分野に統合されたから。

(ウ) — 線2 「自然哲学からソクラテス哲学への展開」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 人間が思春期をむかえて外の世界に目を向けるように、自然哲学が学問的に進展していくなかでソクラテス哲学の原点に立ち帰るようになったこと。

2 「人間とは何か?」と問い合わせていた段階から、科学の基盤となる観察や実験を行うことにより、この世界がどうなっているかを知るようになったこと。

3 人間の精神が幼年期から青年期へと成長するときに、仲間とのかかわりよりも一人の時間を大切にして、自分自身の生き方を模索するようになったこと。

4 自然や世界がどうなっているかを探求する段階から、人間の内面に目を向けて、「どんな人生を生きるべきだらう?」などと考えるようになつたこと。

(エ) — 線3 「知の大革命」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 自然哲学が発展したのと同じ時期に、人類が人間自身の根源的な問いについて考えるようになり、文明を越えて交流しはじめたこと。

2 ソクラテスが哲学で探究すべきテーマを人間自身としたのと同じ時期に、世界各所で人間について考えようとする人たちが現れたこと。

3 自然科学が発展したのと同じ時期に、自然哲学も研究が進んで観察や実験で得た客観的な数値に基づいて思考を深めるようになったこと。

4 中国の孔子などが思想を広めたのと同じ時期に、ソクラテスが人間の本質について考えたことで、それまでの自然哲学が否定されたこと。

（オ）――線4「科学が対象とする『事実の世界』だけじゃなく、豊かな『意味の世界』もまた同時に生きている。」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 人間は、世界の仕組みを明らかにすることよりも、物事の意味や価値を追究することが、人生をさらに充実させるために必要であると信じて生きているということ。

2 人間は、哲学で探究する世界を心の支えにしつつも、科学の力で世の中を進歩させていくことが、物質的な面で人生を豊かにすると思って生きているということ。

3 人間は、科学が明らかにする仕組みや法則の世界にあるとともに、人間や人間にかかるものについて考え、その意味や価値を見出しながら生きているということ。

4 人間は、物事の仕組みを調べるだけでなく、人生の価値や本質を哲学を通して追究することによって、科学的な法則の支配から逃れるように生きているということ。

（カ）――線5「事態はまるつきり逆なのだ。」とあるが、それを説明した次の文中の□I・□IIに入れる語句として最も適するものを、これよりあとの本文中からそれぞれ六字で抜き出し、そのまま書きなさい。

事実は□Iするものではなく、人間が対象を□IIとしてとらえて初めて、事実として認識されるということ。

（キ）――線6「僕たちもまた、『僕たちにとつての事実の世界』をしか生きられない」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 「事実の世界」はそれを認識しているものの数だけ存在しており、それぞれ認識の仕方が異なるなかで、人間は人間の認識の仕方で事実をとらえているということ。

2 「事実の世界」は人間が科学的に解説した通りの姿をしており、生物によって認識の仕方はそれ異なっていても、共通する一つの世界の中で生きているということ。

3 人間が認識しているものの見方が必ずしも「事実の世界」とは言えない以上、哲学の考え方や探究する姿勢を尊重しないと、人生をよりよく生きられないということ。

4 人間の認識の仕方は限定的でしかなく、生物にとつて「事実の世界」がどのように認識されているのかを分析しないと、世界への認識や理解も深まらないということ。

（ク）本文について説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 人間にとつて普遍的な価値である「真」、「善」、「美」を探求するために、自然科学とソクラテス哲学がそれぞれ深まってきた過程を、学術的な専門用語を用いて具体例を挙げながら論じている。

2 歴史上の人物の業績をふまえ、世界の謎を解明するために発展してきた自然科学と、人間の内面に対する疑問で深まつた哲学の両者が常に影響し合いながら進歩してきたことについて論じている。

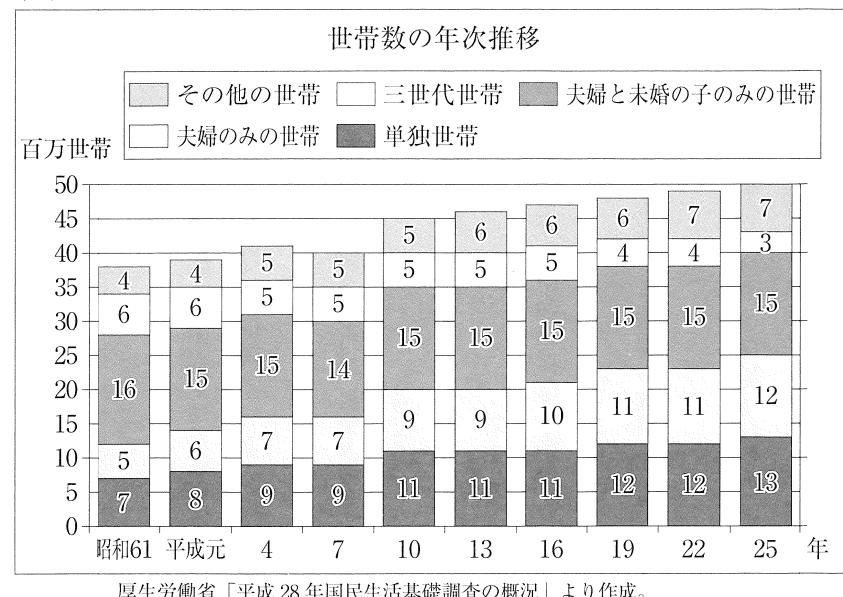
3 自然哲学が、「事実の世界」を解明する自然科学と「意味の世界」を問うソクラテス哲学に進化した過程を述べ、認識の仕方という視点をふまえて「意味」と「事実」の関係について論じている。

4 人間の美に対するあこがれや真実を探求する心が、自然科学やソクラテス哲学として進化する原動力となつたことを、自分の興味を広げて世界を観察することの重要性に触れながら論じている。

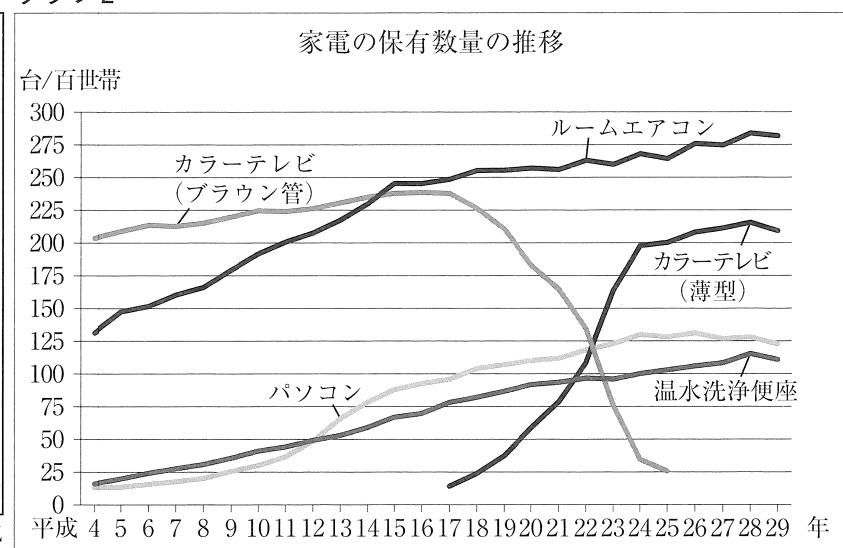
問五

中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、「総合的な学習の時間」に家庭の電力消費量の現状と課題について調べ、話し合いをしている。次のグラフ1、グラフ2、表、文章は、そのときのものである。これらについてあとどの問い合わせに答えなさい。

グラフ1



グラフ2



内閣府「消費動向調査」より作成。「現在の普及率」のうち、「電気洗濯機」「電気冷蔵庫」「電気掃除機」「電子レンジ」は、平成16年に調査が終了している。

表

家電の種類と普及率		
	現在の普及率	昭和61年の普及率
電気洗濯機	99.0%	(平成16年)
電気冷蔵庫	98.4%	(平成16年)
電気掃除機	98.1%	(平成16年)
電子レンジ	96.5%	(平成16年)
ルームエアコン	91.1%	(平成29年)
温水洗浄便座	79.1%	(平成29年)
パソコン	76.7%	(平成29年)
空気清浄機	42.6%	(平成29年)
カラーテレビ(薄型)	96.7%	(平成29年)
衣類乾燥機	56.3%	(平成29年)
食器洗い機	32.4%	(平成29年)

内閣府「消費動向調査」より作成。「現在の普及率」のうち、「電気洗濯機」「電気冷蔵庫」「電気掃除機」「電子レンジ」は、平成16年に調査が終了している。

Aさん 本日は、家庭の電力消費量の現状と課題について考えてみましょう。一世帯あたりの電力消費量に着目して考えると、「原子力・エネルギー図面集二〇一六」によれば、昭和六十年からの二十五年間で約一・五倍に増えています。

Bさん なぜ、今の生活は、それほど大量の電力を消費するようになつたのでしょうか。

Cさん それをるために、まず、グラフ1を見てみましょう。昭和六十一年から平成二十五年までの推移を比較すると、世帯数が増えているのがわかります。

Dさん つまり、電気洗濯機や電気冷蔵庫などが世帯ごとに使われていることを考えると、世帯数が増えればそれだけ全体の電力消費量も増えるということなのです。

Aさんは、家電の使用について、一世帯あたりで見てみると、どのような点が電力の消費量に影響しているのでしょうか。

Cさん 表を見てください。どれも今の私たちにはなじみのある家電と言つていいと思いますが、その普及率において、表の中の家電は、昭和六十一年の時点ですでに普及しているものを除き、いずれも大幅な数値の変化が見られます。特に「温水洗浄便座」や「パソコン」など五種類の家電が、昭和

六十一年の時点で調査対象外でした。これらの家電が調査対象になつたということは、各世帯にあ  
る家電の種類に変化があつたということです。

Dさん この変化は、家庭で使う電力の消費量に影響がありそうですね。

Bさん 少し疑問に思ったことがあるのですが、たとえば、電気冷蔵庫やルームエアコンなどは、昔と比  
べて現在のほうが省エネ化が進み、消費電力は減っているのではないでしょうか。

Aさん たしかにそうですね。それにもかかわらず、一世帯あたりの電力消費量が増えたのはなぜでしょ  
うか。

Cさん グラフ2からも、電力消費量の増加の理由を、読み取ることができます。グラフ2で示  
された百世帯あたりの家電の保有数量の推移から、一世帯あたりの同じ家電の保有数量がどのよう  
に変わってきたかを考えることができます。

Dさん これまでの話を総合すると、表とグラフ2から読み取った変化の内容から、家庭の電力消費量が  
増加している理由は、□□□からだと考えられます。

Cさん こうしてみると、各家庭で電力を無駄に消費しないようにすることが課題と言えますね。

Aさん それを実践するために、何か私たちにできることはありますか。

Bさん 基本的なことですが、こまめに電源のスイッチを切るという意識を高めなければなりません。

Dさん 温水洗浄便座のヒーターは、ふたを閉めると節電になりますから、上手に使うといふことも大事  
です。

Aさん ここまで、家庭の電力消費量の現状と課題について話してきましたが、電力を無駄に消費しない  
ようにするために、まずは自分にできることから節電を意識するようにならう。

(ア) 本文中の□□□に入れるものとして最も適するものを次のなかから一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 夫婦のみの世帯、夫婦と未婚の子のみの世帯に大きな変化はなく、主に単独世帯が約二倍に増加し  
ていることに伴つて、全体の世帯数は増えている
- 2 三世代世帯が半分に減少しているものの、主に単独世帯や夫婦のみの世帯が増加していることに  
伴つて、全体の世帯数は増えている
- 3 夫婦のみの世帯が約二倍、その他の世帯が約三倍に増加したことに伴つて、三世代世帯が減少して  
も、全体の世帯数は増えている
- 4 どの年も夫婦と未婚の子のみの世帯がすべての世帯のなかで一番多く、全体の世帯数は約五割増え  
ている

(イ) 本文中の□□□に適する「Dさん」のことばを、次の①～④の条件を満たした一文で書きなさい。

- ① 書き出しの「家庭の電力消費量が増加している理由は、□□□」という語句に続けて書き、文末の  
からだと考えられます。という語句につながるように書くこと。
- ② 書き出しと文末の語句の間の文字数が二十字以上三十字以内となるように書くこと。
- ③ 表とグラフ2から読み取った変化の具体的な内容に触れていること。
- ④ 「一世帯あたり」という語句を、そのまま用いること。